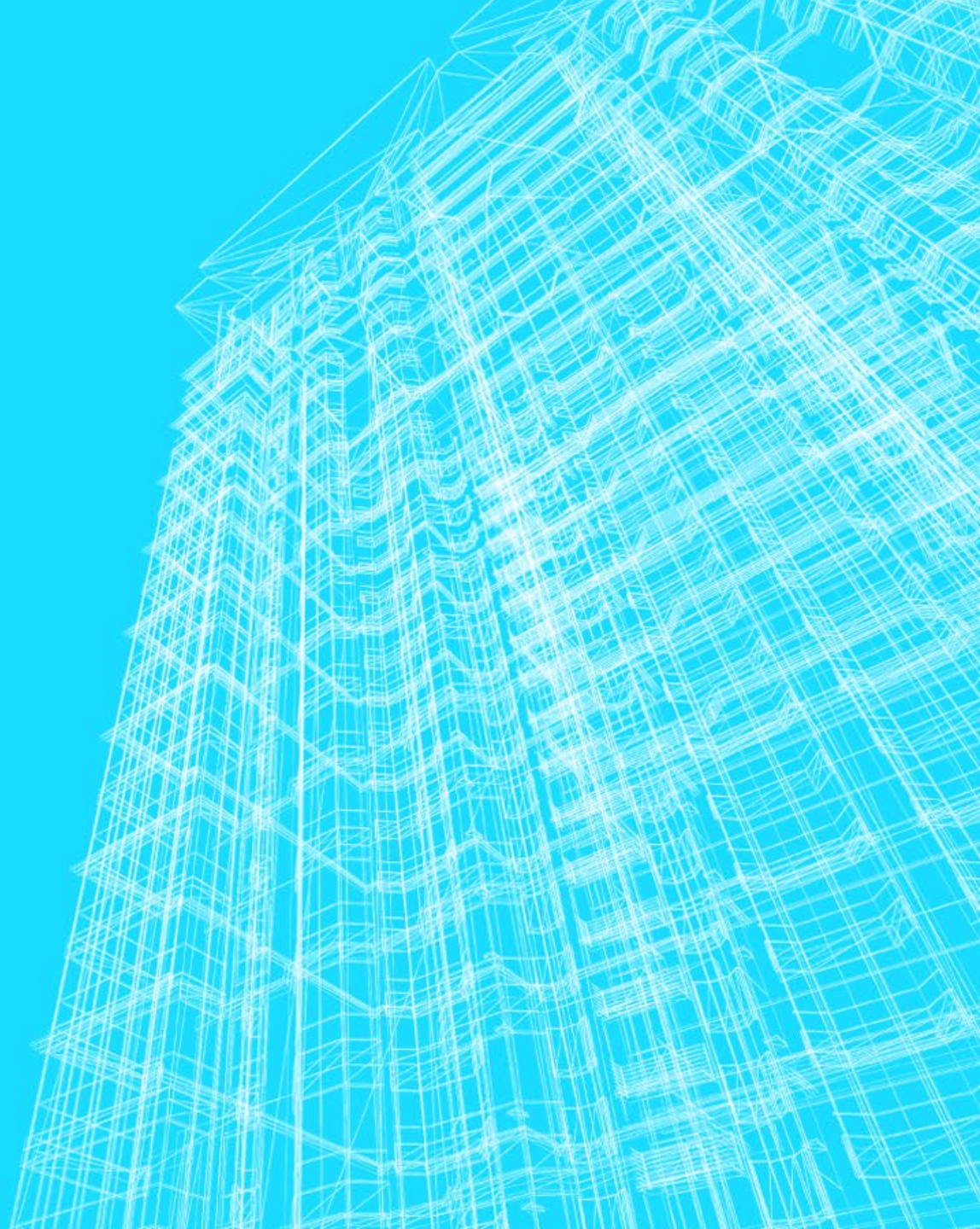
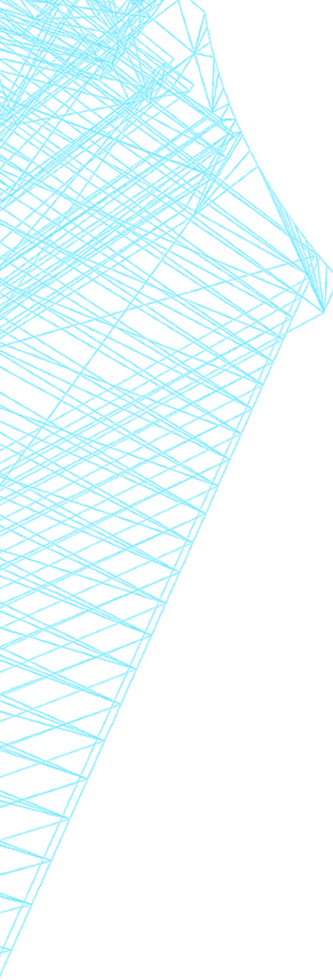


博士後期課程 経済経営リスク専攻 入試説明会

滋賀大学経済学研究科





目次

- 特色・教育理念
- 求める学生像と養成する能力
- 博士号をとるためには
- 入学試験
- 卒業生の進路

経済経営リスク専攻の沿革と特色

沿革

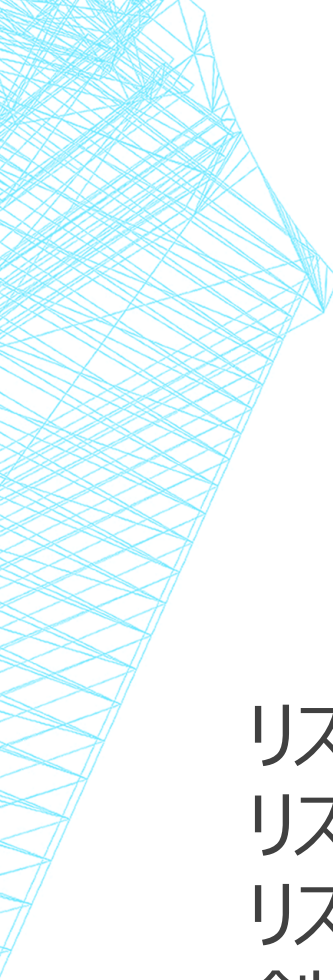
- 2003年
- 滋賀大学大学院経済学研究科
博士後期課程

経済経営リスク専攻設置

- 国立の社会科学系大学院で
「**リスク**」を研究対象とした
唯一の大学院

特色

- リスクの幅広い把握
 - **金融・経営・経済**
- 学際的な母体
 - **経済学部**



教育理念と目的

リスクに精通し、
リスクを適切に管理し、
リスクをふまえて新たな事業を
創出できる

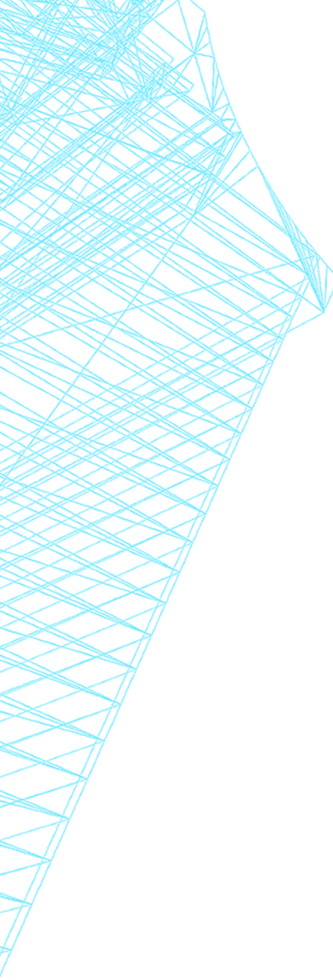
**「リスク・リサーチャー」
の養成を目的とする**

- **グローバル・スペシャリストの養成**

国際的な視野を持ち、環境に配慮しつつ、
地域社会にも貢献できる、個性ある専門職業人

- **その資質として3つの「識」を養う**

問題意識、専門知識、規範意識



教育研究分野

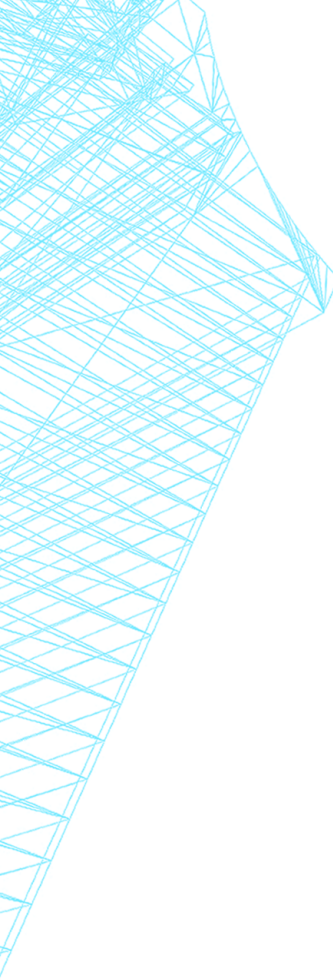
経済活動に伴って生じるリスクのうち，経済リスク，経営リスクに研究領域を設定し，その教育研究分野は「リスク基礎」及び「リスク発展」から構成されます。

リスク基礎

経済・経営におけるリスク発生の可能性とその分析手法等，リスクに関連する基礎的な理論，分析手法及びリスクと経済倫理の関係について教育研究します。

リスク発展

リスク理論やリスク管理手法をふまえて，積極的にリスクを取りつつ，企業を創造し，産業を創造し，地域を創造する環境整備について教育研究します。



養成される能力



経済学および経営学におけるリスクに関する最先端の知識と研究能力を取得し、新しい事業を創造することができるリスク分析能力とリスク管理能力を培う。



派遣元企業や地方公共団体等で、リスク管理、企業創造、地域創造に関わって、指導者的役割を果たす人材を創出。

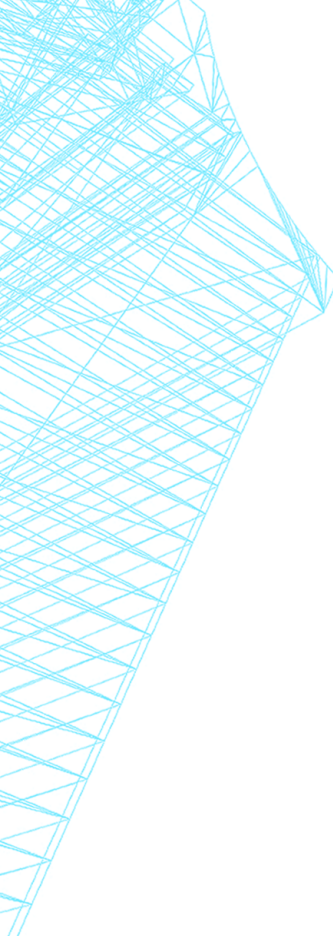


留学生は、帰国後、経済開発、地域開発、金融政策に携わる上級公務員または、ベンチャー企業家や経営コンサルタント等として活躍。

修了要件

- 3年以上在学して下記の単位（合計22単位）を修得し，かつ必要な研究指導を受けた上，学位論文の審査及び最終試験に合格すること。
（特に優れた業績を上げた学生を除く。）

リスク基礎分野科目群（各2単位）	リスク発展分野から2単位を含む4単位以上
リスク発展分野科目群（各2単位）	
フィールドワーク（2単位）	8単位以上
プロジェクト研究（2単位）	
論文演習Ⅰ・Ⅱ（各2単位）	
ワークショップ [○] DI・DII・DⅢ・DⅣ（各2単位）	
特別演習Ⅰ・Ⅱ（各2単位）Ⅲ（4単位）	8単位



複数指導教員による指導体制

- 学位論文の準備から完成にいたる全過程において、きめ細かな複数教員の指導体制のもと学位論文の完成を目指します。
- 複数指導教員の指導のもとで実施される「フィールドワーク」「プロジェクト研究」「論文演習」「ワークショップ」を選択必修科目とします。実際的な問題発見能力や解決能力、また柔軟で自立的な研究能力を培います。
- 学位取得にむけた必修科目として「特別演習」を各年次に配当します。「特別演習」は、指導教員と副指導教員が院生の到達度を評価し、学位論文準備や論文作成のために適切な研究指導を行うものです。院生の研究能力を評価し、方向付け、最終的に学位論文に結実するよう研究指導を行うことを目的とします。

博士論文提出への歩み

2度の研究報告会

・2回生:

D2研究報告会

(9月～11月)

・3回生:

中間研究報告会

(10月)

学位申請資格の認定を申請

(3回生9月)

申請資格の要件

下記の①または②

① 3編以上の公表論文(レフェリー制学術誌1編以上)

／2回以上の学会報告

② 学術論文として1年以内に公刊できる質と量を備えた原稿

学位論文提出

論文審査

最終口述試験

D2研究報告会は、「特別演習Ⅱ」の一環として、博士論文作成の重要なステップに位置づけられています。研究内容の質問だけでなく、学位論文を作成するに当たっての一般的な留意事項も含めて、幅広い助言なども得られます。

博士論文提出への歩み

2 回生： D2 研究報告会



報告者の研究報告



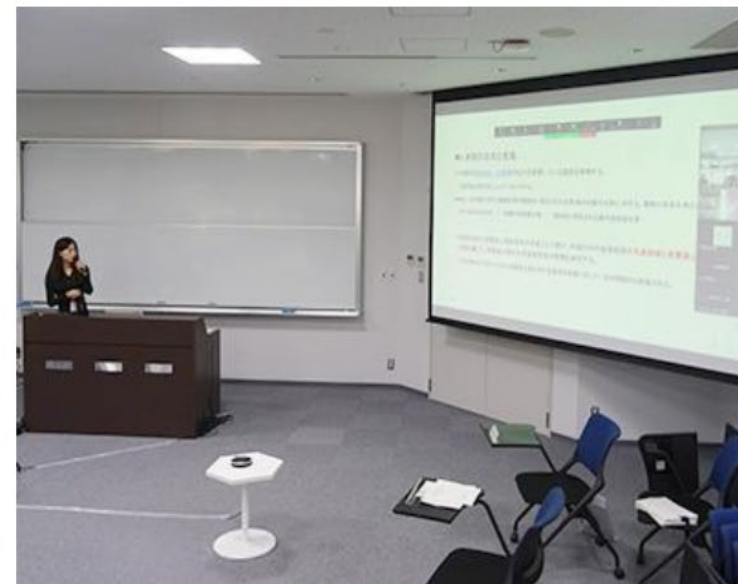
指導教員からの助言

博士論文提出への歩み

3 回生： 中間研究報告会



＜研究科長より挨拶＞



＜報告者の研究報告＞



＜指導教員からの質問等＞



＜会場の様子＞

令和5年度の様子＜<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/econ/3/2/1/26.html>＞

博士論文提出への歩み

2度の研究報告会

・2回生:

D2研究報告会

(9月～11月)

・3回生:

中間研究報告会

(10月)

学位申請資格の認定を申請

(3回生9月)

申請資格の要件

下記の①または②

① 3編以上の公表論文(**レフェリー制**学術誌1編以上)

／2回以上の学会報告

② 学術論文として1年以内に公刊できる質と量を備えた原稿

学位論文提出

論文審査

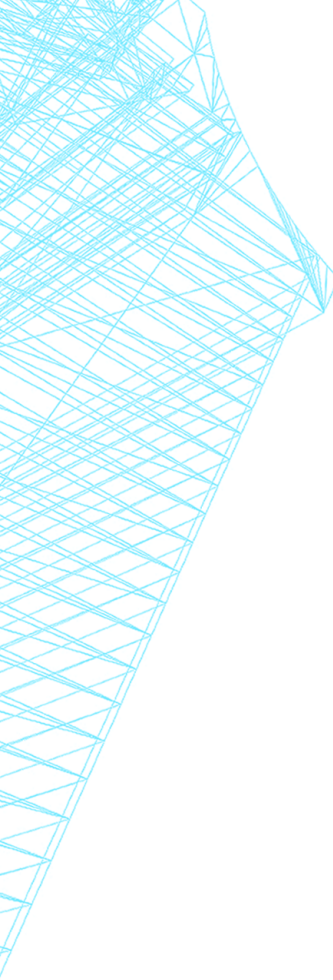
最終口述試験

公表論文のうち、レフェリー 制学術誌（査読付き論文）**1** **編以上**

査読とは、研究者が学会に論文を投稿
する際に、あらかじめ 同じ分野で研究
をしている他の研究者による評価を受
けること。論文の質、新規性、記載の
体裁や有用性などが厳しく審査される。

学位申請要件： 3 編以上の公表論文





アドミッション・ポリシー

- いずれかの専門分野において修士課程を修了した者（見込含む）またはそれと同等以上の学力がある者で、専門的知識を持ち、論理的思考力と表現力、リサーチ能力をもつ実務経験者ないしはそれに相当する人
- 経済学または経営学、及びリスクに関する知の探求と創造に高い意欲と能力のある人
- 国際社会・地域社会の課題の発見とその解決に高度な専門知識と見識・教養をもって指導的役割を果たすリスク・リサーチャーを目指す人

博士後期課程入学試験

募集人員

一般志願者・派遣志願者 **3** 名

出願資格

修士の学位を有する者（見込含む） 又はそれに準ずる者

出願資格審査

令和7年11月25日（火）16時まで

出願期間

令和7年12月17日（水）～ 12月23 日（火）16時

入試日程

令和8年1月24日（土）

選抜方法

一般志願者

論文審査

口述試験

TOEIC、TOEFL、IELTSの
成績

(その他)成績証明書
などの提出書類

派遣志願者

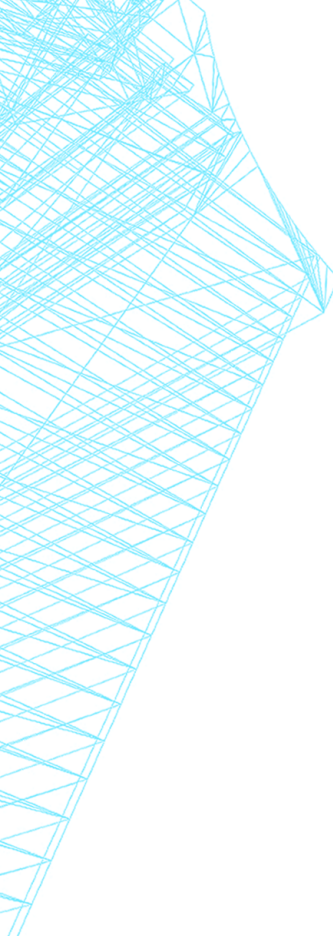
論文審査

口述試験

英語能力を証明する書類
(持っている場合のみ)

(その他)成績証明書
などの提出書類

※詳しくは10月に公開予定の募集要項をご確認ください。

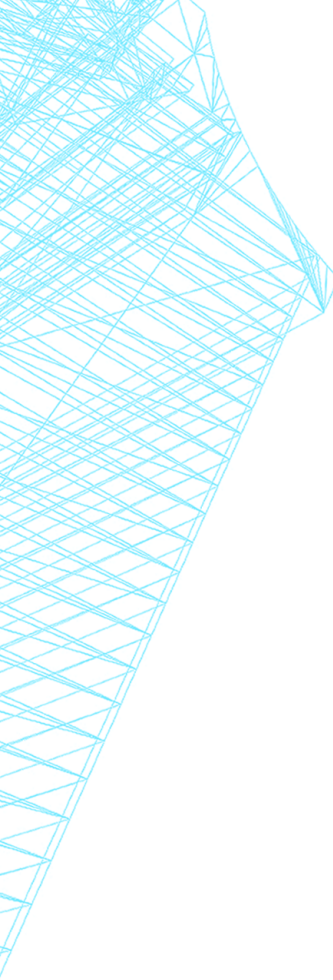


研究計画書と審査用論文

論文審査も口述試験も、**研究計画書**及び**審査用論文**の内容にもとづいて実施します。

研究計画書	本研究科所定の用紙を表紙として使用し、A4版（様式自由）で日本語の場合6,000字程度、英語の場合2,500語程度。審査用論文の内容との関連を明示する。
審査用論文	・これまでの研究成果を示す論文2点以内及びそれら論文の要旨（日本語で2,000字程度、A4版で様式自由）。 ・研究成果を示す論文は、原則として修士論文・既発表論文とする（原則として日本語の場合10,000字以上、英語の場合4,000語以上）。

※詳しくは10月に公開予定の募集要項をご確認ください。



学生支援制度

- ▶ **長期履修学生制度**

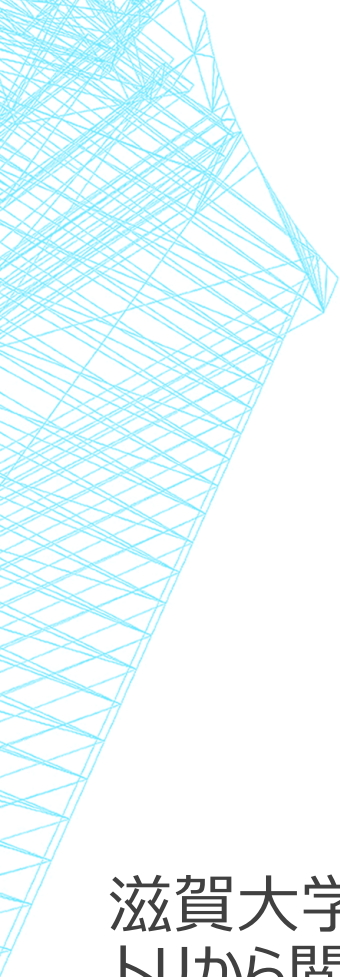
4年～6年で計画的に履修することを認め、標準年限の授業料総額をその期間に分割

- ▶ **外国人留学生の入試成績優秀者への授業料免除 制度**

- ▶ **奨学金制度**

- ▶ **オーダーメイド型履修制度**

固定の時間割は無く、希望する科目を開講依頼



滋賀大学学術情報リポジトリから閲覧可能

博士学位授与者・ 博士論文



滋賀大学学術情報リポジトリ
Shiga University Repository

お知らせ

[2023/06/30]

現行JAIRO Cloud (WEK02) から次期JAIRO Cloud (WEK03) へのシステム移行について、6月30日現在、切替作業が完了していないため、新システムの提供開始が延期に延期されることになりましたのでお知らせします。

重ねての移行スケジュール延長により利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますこと、お詫び申し上げます。何卒ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

1. サービス停止期間

令和5年6月27日（火）～新システム提供開始まで（7月3日（月）以降予定）

※6月30日（金）までの予定でしたが、延期に延長となりました。

※新システムにはアクセスできる状況になっていますが、一部表示や検索結果などに不具合が生じております。

2. データ登録・更新の受付停止について

リポジトリデータの登録・更新作業について、新システムが提供開始されるまで受付の停止期間を延長させていただきます。

【データ登録・更新受付停止期間】

令和5年5月9日（火）～新システム提供開始まで（7月3日（月）以降予定）

※6月30日（金）までの予定でしたが、延期に延長となりました。

※上記期間中のご依頼については、リポジトリシステム再開後に順次対応いたしますので、何卒ご承知をお願いします。

3. CINIへのデータ連携の停止について

本件に伴い、リポジトリデータのCINIとの連携機能も停止されますので、ご留意願います。

【CINI連携停止期間】

令和5年5月10日（水）～未定

※当初は7月4日（火）までの予定でしたが、再開日は追ってご連絡いたします。

[続きを読む](#)

滋賀大学学術情報リポジトリとは

滋賀大学学術情報リポジトリは、滋賀大学が生産している多様な学術情報、研究・教育成果（学術論文・研究報告書・博士論文・教材など）を永続的に蓄積・保存し、インターネットを通じてどなたでも無料でアクセスできるように公開する学術コンテンツデータベースです。大学としての社会的説明責任を果たすものです。

滋賀大学学術情報リポジトリコンテンツ

トップ

ランキング

入力後、Enterキーを押下し検索してください

検索

詳細検索

全文

キーワード

インデックスツリー

- ▶ 100 教育学部, 大学院教育学研究科(Fa
- ▶ 110 附属教育実践総合センター(Center
- ▶ 160 附属幼稚園(Attached Kindergarten)
- ▶ 170 附属小学校(Attached Elementary S
- ▶ 180 附属中学校(Attached Junior High S
- ▶ 190 附属特別支援学校(Attached Schoo
- ▶ 200 経済学部, 大学院経済学研究科(Fa
- ▶ 210 附属史料館(Archival Museum)
- ▶ 220 経済経営研究所(Institute for Econo
- ▶ 240 リスク研究センター(Center for Ris
- ▶ 270 彦根高等商業学校
- ▶ 280 大学院経済経営研究会
- ▶ 290 陵水会(滋賀大学経済学部同窓会)
- ▶ 310 生涯学習教育研究センター(Resear
- ▶ 320 産業共同研究センター(Joint Resea
- ▶ 330 環境総合研究センター(Research C
- ▶ 340 国際センター(Shiga University Inte
- ▶ 350 保健管理センター(Health and Med
- ▶ 360 情報処理センター(Center for Infor
- ▶ 370 地域連携センター(Center for Com

Index List

700 学位論文 / 01. 博士論文（経済学研究科） 平成25年度以降 / 令和4年度

Found 1 result.

エクスポート

表示順: ID asc 表示数: 20

所得税制度における夫婦の取り扱いの変容：国際的動向と日本の配偶者控除改革の課題

森, 一葉, 2023-03-24, Issued, kakenhi, 14201, 滋賀大学

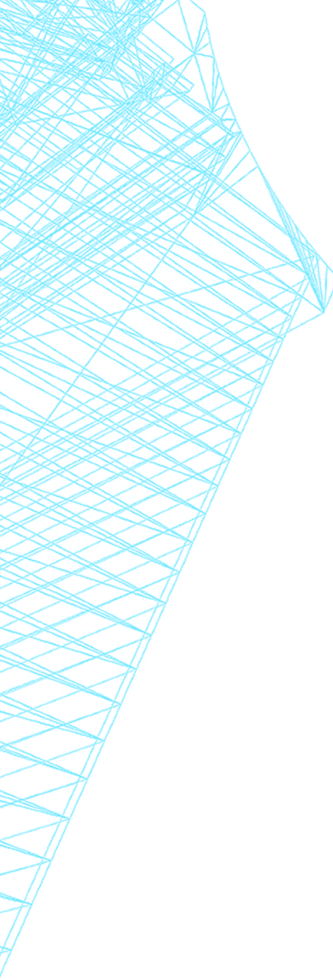
pdf pdf pdf

◀

<

>

▶



進路先・現在の勤務先

- 国内大学 10名
- 海外大学 12名
- 国内企業 10名
- 海外公的機関 4名
- その他 12名

(以上、48名)

*** 修了年度 : 2005～2024年**



ご清聴
ありがとうございました

